

入野小学校

グリット
G R I T (やりぬく力)を育て、
命を輝かす！

校長 前田 浩文

◆はじめに

この春、12名の新入生を迎え、全校児童109名で、今年度の教育活動がスタートしました。

子どもたちが大人になる時代は、仕事内容も大きく変化し、超スマート化社会に突入すると言われていきます。また、国際化も加速度的に進んでいくでしょう。そういう社会を見据えながら子どもたちが自ら未来を切り拓いていける力を養うために以下の取組を進めています。

◆学校教育目標

「G R I T (やりぬく力)を育て、命を輝かす！」

今年度もG R I Tを教育目標に掲げました。学校の生活全般を通して、子どもたちが互いの命を大切に、支え合いながら何事に対しても、あきらめずに最後までやりぬいてほしいという願いを込めています。

そして、さまざまな取組

を進めていく過程で、次の3つの力をつけていきたいと考えています。それは、ファシリテーション能力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力です。

◆学力向上

本校の学力を学力調査結果で見ると、活用力に弱さがあり、特に記述式問題での根拠を基に筋道を立てて説明するという力に弱点があります。

その課題を克服するために昨年度より、文部科学省の「主体的・対話的で深い学び」指定事業を受け、算数科を中心に研究を進めています。

具体的には、「めあてとま



とめをしつかり押さえ、習ったことの振り返りを着実に「1時間の振り返り」を行う、「1時間の中で必ず対話の場面を設ける」、「ノートに自分の考えや友だちの考えを書く」、「子どもたちのノートが整理しやすいように板書をする」、「目で見てわかりやすくするためICT(※)を活用する」などを実践しています。

このような日々の授業のルーティンによって、上述した3つの力の育ちを期待しています。

◆豊かな心

自尊感情とやりぬく力とは密接に関係しています。ほかから認められたり、褒められたりすることは次の意欲につながりますので、子どもたちの日頃のあいさつや良い行い、がんばったことなどを全体的場や学級で積極的に評価しています。

また、ボランティアによる読み聞かせ朝会や読書活動の奨励、人権教育参観日には、講師を招いて講演会を開いています。

加えて児童会が中心となり、毎週金曜日の昼休みに児童会室で「いじめ相談室」を開いています。子どもた

ち同士で問題を解決していこうとする自治活動はとても大切ですので、さらに自治能力を高めたいと考えています。

◆体力向上

毎朝のマラソンから1日がスタートします。体育の授業の充実はもとより、運動会、水泳記録会、陸上記録会、マラソン大会などの行事と関連させながら、多様な動きと体力を高めるために年間を通して計画的に取り組んでいます。

◆ふるさと・キャリア教育

子どもたちが故郷を愛し、故郷に誇りを持ち、人の役に立つ生き方ができるようにと願って、地域総がかりで支援していくのが「ふるさと・キャリア教育」です。そのために、積極的に地域に足を運び、地域の良いところや産業、商業、観光などについて聞き取り学習を行っています。

学んだことをアウトプットする場として、令和2年2月15日(土)に「ふるさと・キャリア」イベントを開催します。

それに向けて着々と準備を整えているところです。



◆連携

昨年度より、「入小の子どもを育てる会」(学校運営協議会)を発足させ、区長さんや民生児童委員・PTA役員の方々に子どもたちの活動を直接・間接的に支援していただいています。

また、今年度よりPTAに「子どもサポーター部」が新設されましたので、校外学習の引率や調理実習、放課後学習、避難訓練の見守り、草刈りなど、多岐に渡って関わっていただいています。子どもたちには、さまざまな人との出会い、関わりを通して多くを学びとってほしいと願っています。

(※)通信技術を活用した
コミュニケーション

上川口小学校

「自ら学び 豊かにかかわり
合いたくましく生きる児童
の育成」

校長 東 淳一

◆はじめに

本年度は、6名の新入生を迎え、全校児童38名、教職員12名(学習支援員を含む)、7学級(複式学級2組を含む)編成で教育活動がスタートしました。

本校の児童は、明るく真面目で、上級生が下級生の面倒をよく見ることができ

ます。
一例として、今年度より運動会を春に行うことになりましたが、入学式直後より朝運動や休み時間に、6年生が1年生の手を取りながら一輪車の練習をしていました。本番でも6年生に支えられながら演技する1年生の姿がほほえましかったです。

また、毎週水曜日の朝は、児童会や委員会が中心となり、交替で学校の玄関前に並びあいさつ運動をしています。子どもたちは校内だけでなく地域の方々にも元

気なあいさつができています。ようで、時々嬉しい連絡をいただきます。これからも継続して取り組みを続けていきたいと思っています。



◆学校教育目標

「自ら学び 豊かにかかわり合い たくましく生きる児童の育成」が学校教育目標です。

情報化、グローバル化が急速に進み、多様な価値観が溢れ、当たり前としていたことが通用しなくなる社会が訪れることでしよう。そんな社会を生き抜くために、知・徳・体のバランスの取れた力を身につけ、しなやかに、そしてしっかりと生きていくことができる心身ともに強い人間が求められます。私たちは、周囲に思いやりを持ち、協調しながら生きる力の育成をめざし、日々取り組んでいます。

◆研究主題・研究推進

研究主題は、「自分の考えや思いを豊かな表現で伝え、互いに高めあい行動できる児童の育成」とし、4つの柱(知・徳・体・命)で研究推進を図っています。

・知の育成

小規模校である本校児童は、必ず複式授業を経験します。複式の特徴である、学習リーダーを中心にペアやグループで学び合う授業は、主体的な学習、対話的な学習に有効です。自分の考えを友だちに理解してもらうために言葉の選び方や使い方を考えたり、図や表に表したりすることで多様な見方や論理的な考え方の育成を図ることができます。



ICTは、視覚支援的な活用だけでなく、発表会や取材活動などに使用し、情報処理・活用能力を高めています。

また、語彙の獲得、読解力向上のため、読書活動の推進を図っています。朝読書や家庭読書、目標冊数・ページの設定、必読図書選定などさまざまな手法を取り入れていきます。

地域の読み聞かせボランティアの方の力も大きく、子どもたちの本に対する興味の高まりに一役買ってくれています。昼休みには、大きな本袋を肩に「〇冊読んだ」、「〇ページいった」などと話しながら、笑顔で図書室に通う子どもたちの姿が見られます。

・徳の育成

「優しさを受けて育った子は、他人にも優しくできる」と言われます。

一人ひとりの自尊感情の高まりは、信頼できる関係を築き、楽しくて安心できる集団をつくります。

そこで、本校では、自尊感情を高める取組として、児童会を中心とした全校レク、「ありがたうの木」など、仲間意識を高める取組を続けています。

また、本校には子どもたちが考えた「上川口小五カ条」が掲げられており、落着

き和やかな学校生活づくりにも役立っています。



・体を鍛え・命を育む

全校ストレッチ、朝マラソン、一輪車練習や縦割り班サーキット運動で学校の1日が始まります。このような日々の継続した体力づくりとともに、体育の授業改善、授業づくりに努めています。

防災・安全については、毎月設定を変えながら地震・津波避難訓練を実施しています。

防災教育参観日には、地震や大雨による災害についての学習をいれるなど、工夫しながら学習を重ねています。また、道徳や人権教育との関連を図りながら命の大切さについても学習を進めています。

◆ふるさと・キャリア教育

学年に応じた地域学習や交流などで地域の方たちと触れ合い、ふるさとを愛する心を、今後もしっかりと育んでいきたいと考えています。